

青譚区フードパンク通信



「桜を愛する会」と「鴨志田地域ケアプラザ」で食品配布

横浜市青葉区…宅地開発が行われ、働き盛りの子育 て世代が住み始めて50年あまりが経過しようと しています。子どもが巣立ち、親たちは「高齢者」 になり、近頃は地域の様子が変わってきました。子 どもの姿を見ることが減り、外出する高齢者も稀 で、街の活気が失われつつあると感じている人もい ることでしょう。

2020年からのコロナ禍によって、収入が減ってきている「生活困窮世帯」も増えていると言い、見えない貧困が、ここ青葉区にもあるのではないでしょうか? そんな仮説を立てて、私ども「国際文化交流研究会」は、「食による人と人との交流」を活性化するべく、2021年4月からフードバンク活



トレトカン─、周末科なごよ記方。しました。来所している高齢者四十名にレ地域ケアプラザ」にて、食品配布会を実施地域ケアプラザ」にて、食品配布会を実施



を愛する会」にて、食品配布を実施しました。↓ は観見川沿いの桜の景観維持活動をしている「桜

動を開始しました。そのキーとなるのが、地域の「外国人労働者」と「高齢者」との交流企画です。 サービス業の時短営業によって収入が減った外国 人労働者に食品配布活動のボランティア参加をお 願いし、高齢者とのコミュニケーションを推進し ていきたいと私どもでは考えています。

そのトライアルとして、まずは「桜を愛する会」と「鴨志田地域ケアプラザ」での食品配布を行いました。4月~5月には外国人労働者とも連絡を取り合い、6月の鴨志田地域での食品配布会へとつなげたいと思っています。(文責:編集部)

主なフードバンク活動の記録

【第1回】4月11日(日) 桜を愛する会

レトルトカレーなど25食を配布

【第2回】4月12日(月)鴨志田地域ケアプラザ

レトルトカレー、スナック菓子等40人分を配布

★今後の食品配布会の開催予定★

6月13日・桜を愛する会

6月14日・鴨志田地域ケアプラザ

※食品協力: みんなのフードバンク http://minnano-foodbank.com/

編集後記

横浜市青葉区にある鴨志田地域ケアプラザで食品配布を行いました。青葉区で環境ボランティア活動をしている団体の役員のご紹介により、鴨志田団地在住の高齢者や学童保育の世話人など多くの方々にお集まり頂きました。デイサービス参加の高齢者には特にパックご飯・カレーのセットやサンリオのお菓子が人気でした。子ども食堂の支援者、民生委員、PTA役員等から地域の様子も色々と伺い、次回の配布の参考になりました。(園)

http://kokusaibunkalabo.com/